

図3 ファームウェアの選択と書き込み実行画面

とアドレス (0x0) をそれぞれ入力します (図3)。

ESP32-DevKitCをPCにUSBで接続します。画面下部のオプション設定で、SPI SPEEDを40MHz、SPI MODEをDIO、DoNotChgBinにチェック、COMにESP32-DevKitCを接続したシリアル・ポート、BAUDに115200をそれぞれ指定します。

指定した内容を確認して、[START] ボタンをクリックします。

最後に左下部分に「FINISH」と表示されたら終了です。

◆参考文献◆

- (1) AT Command Set, Espressif Systems.
https://docs.espressif.com/projects/esp-at/en/latest/esp32/AT_Command_Set/

みやた・けんいち

第4章 MQTT X, Talend API Tester

ご購入はこちら

MQTTクライアントやREST APIの設定

宮田 賢一

4.1 MQTTクライアントMQTT Xの設定

● インストール

最初に次のURLからmacOS, Windows, LinuxのいずれかのインストーラをダウンロードしてPCにインストールしてください。

<https://mqttx.app/>

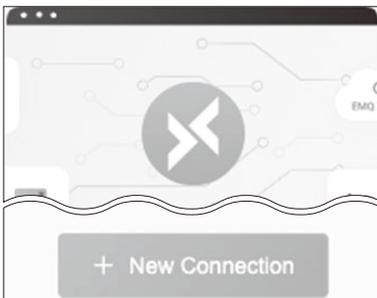


図1 MQTT Xツール上で[+ New Connection]をクリック

● MQTTメッセージの購読

MQTTメッセージを購読 (subscribe) するには、次の手順で設定します。

- (1) [+ New Connection] をクリックする (図1)。
- (2) 「General」ペイン (図2) で以下の情報を入力して画面右上の [Connect] をクリックする。
 - Name - MQTTブローカに対する任意の名前
 - Client ID - 接続するクライアント (MQTT X) を識別する任意の文字列
 - Host - 接続するMQTTブローカ。test.mosquitto.orgを使用する場合はプロトコルとしてmqtt://、

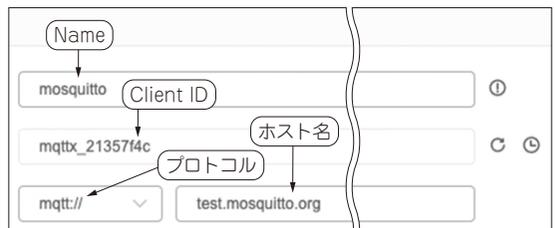


図2 「General」ペインで名前やクライアントIDを入力